

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	南アルプス市曲輪田	地区名	芦沢川(アシザワガワ)	事業主体	山 梨 県
-----	--------------------	------	-----------	-----	-------------	------	-------

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 本溪流は流域面積0.11km<sup>2</sup>の土石流危険溪流である。上流域は山腹崩壊が進み荒廃が著しいため河床に不安定土砂が厚く堆積しており、現況整備率は20%と低い。そのため、台風や豪雨等の影響により、下流の保全対象に甚大な被害の危険性が懸念される。  
 保全対象には、人家68戸、県道290m、市道1,570m、橋梁5橋、公会堂および集会所、消防詰所などがある。従って、早急に土石流対策の砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

**②整備目標・効果**  
 主要目標  土石流被害の防止  
 ・災害実績 無  

	整備前	整備後
土砂整備率	20%	→ 33%
流木整備率	20%	→ 33%

 ・重要公共施設の有無 有 県道桃園市之瀬線  
 (保全対象=人家68戸、県道290m、市道1570m、橋梁5橋等)

副次目標 ー  
 副次効果 ー

**(2) 整備内容**

**①整備内容**  
 砂防堰堤 1基 H=5.5m L=41m

**②着手年度** 令和3年度      **③完成見込年度** 令和12年度

**④総事業費** 約450百万円 (国費225百万円(5/10)県費225百万円(5/10))

**⑤年度別の整備内容 (事業費)**

令和3年度	詳細設計・用地測量	40百万円
令和4年度	用地取得・立木補償	20百万円
令和5年度	砂防堰堤工事	50百万円
令和6年度	砂防堰堤工事	40百万円
令和7年度	砂防堰堤工事	60百万円
令和8年度	砂防堰堤工事	50百万円
令和9年度	砂防堰堤工事	50百万円
令和10年度	砂防堰堤工事	50百万円
令和11年度	砂防堰堤工事	50百万円
令和12年度	砂防堰堤工事	40百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

**⑥既整備内容・期間・事業費**  
 治山堰堤 1基

**(3) 事業の妥当性評価**      妥当   妥当でない

**①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)**         
 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当

**②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)**         
 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当

**③経済妥当性**     

総事業費	450 百万円	工期	R3~R12	基準年	R2
経済効率性	費用	376 百万円	便益	593 百万円	
	建設費	376 百万円	一般資産被害抑止	191 百万円	
		百万円	人身被害抑止	74 百万円	
		百万円	公共土木施設等被害	69 百万円	
		百万円	その他※	259 百万円	
B/C			1.6		

※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失)  
 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている

**④事業実施・規模の妥当性**         
 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である

**⑤整備手法の有効性**         
 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設設計画とした

**⑥環境負荷等への配慮**         
 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮

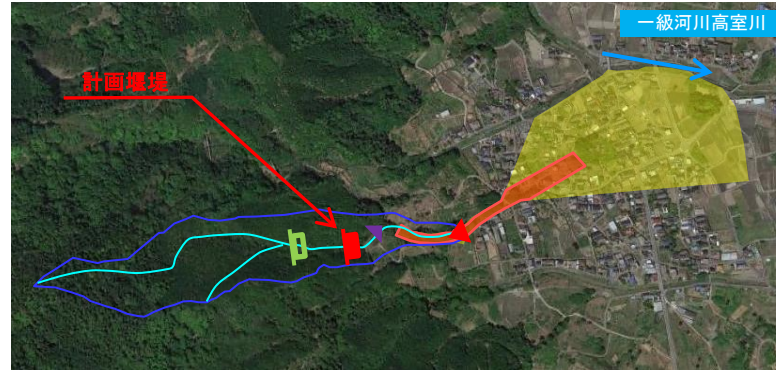
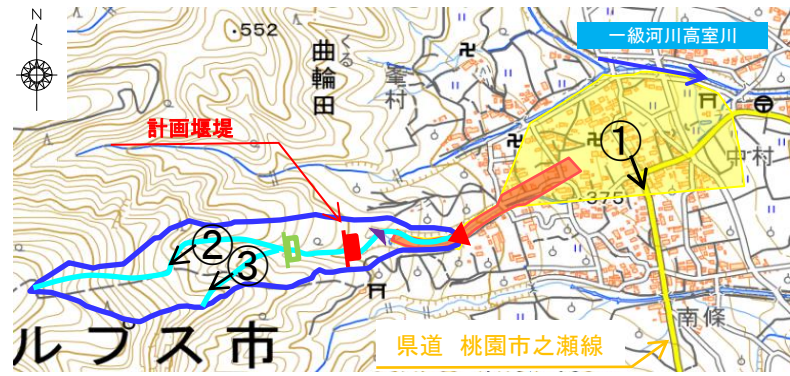
**⑦事業計画の熟度**         
 地元の要望に基づいている

**総合評価**      **[貢献度ランク: a]**



## 2. 添付資料シート

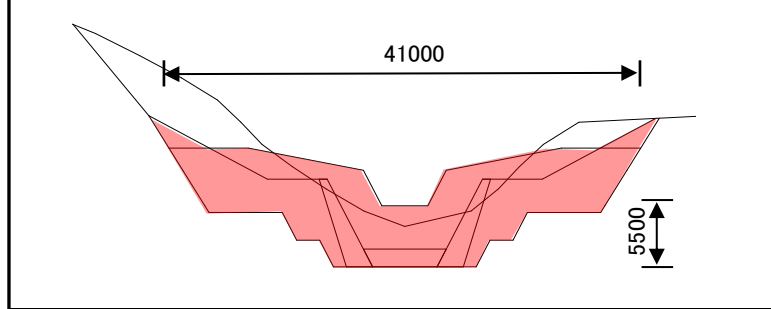
流域概要図



【凡例】

- ▲ 治山堰堤
- 将来計画砂防堰堤
- 計画砂防堰堤
- 流域境界
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- ▲ 計画基準点

正面図



保全対象



荒廃状況

